

博士課程を修了して、 企業で楽しく働くという選択肢

東北大学 オープンキャンパス

2016年 7月 27日
オムロン株式会社
今井 紘

OMRON

今日お伝えしたいこと

博士課程とは、

何故やるか？ 何をやるか？ どうやるか？

を考え抜き

どーにかこーにかやりきる

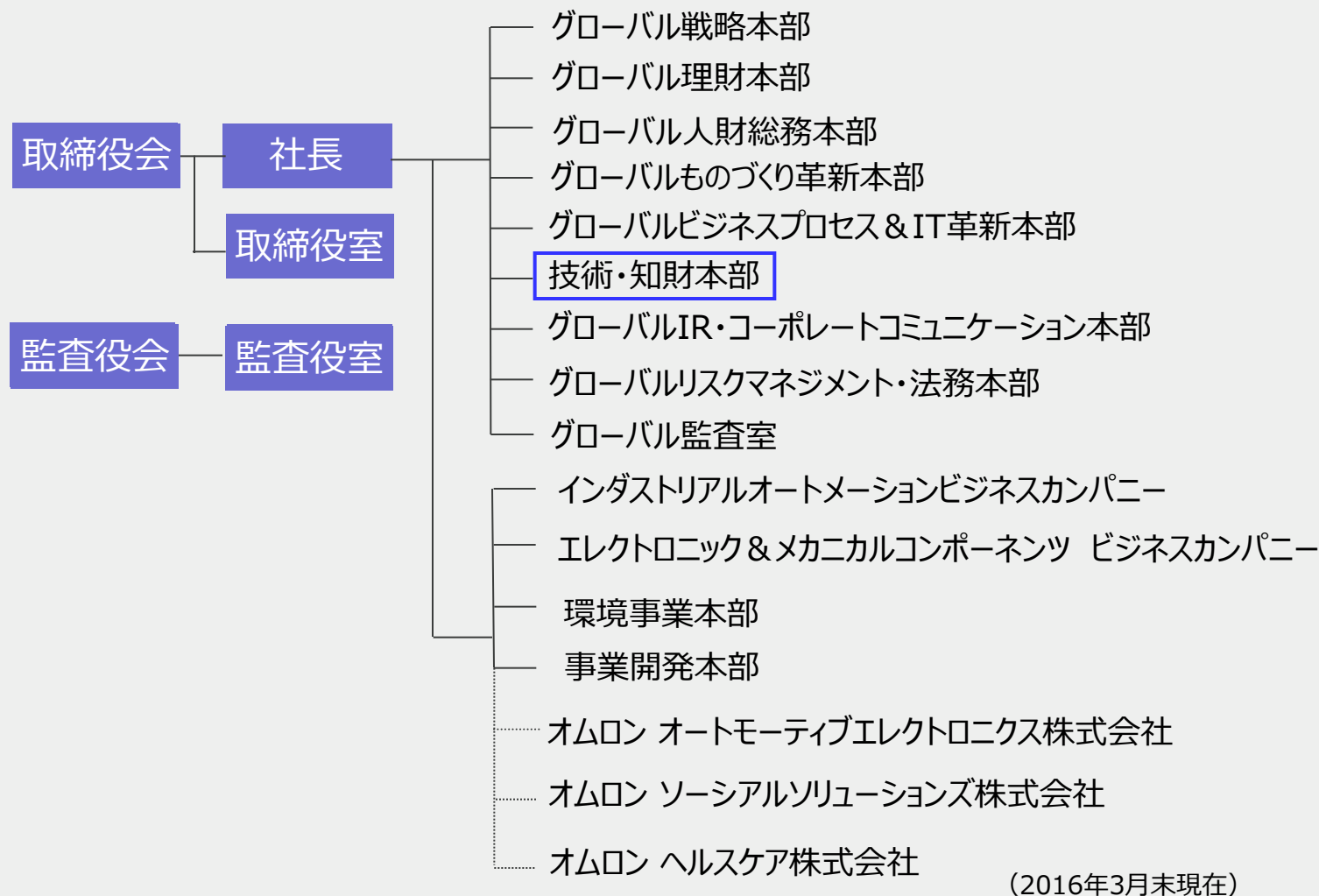
良質な経験の場です。

この経験は、職業人として
「自分の意志に基づいて創造的に仕事をする」

基盤となるでしょう。

会社紹介：組織と私のミッション

本社のR&D部門で、新規技術の企画・研究開発と事業企画をやっています



会社紹介：色々な分野の製造業です

売上高 8,336億円（営業利益 623億円）

（2016年3月期・連結）



本社直轄
（環境、その他）事業



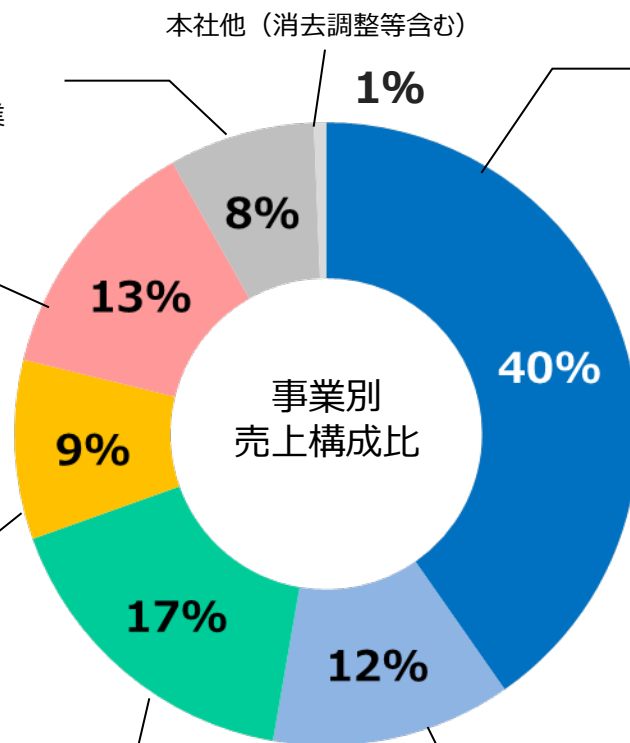
ヘルスケア事業



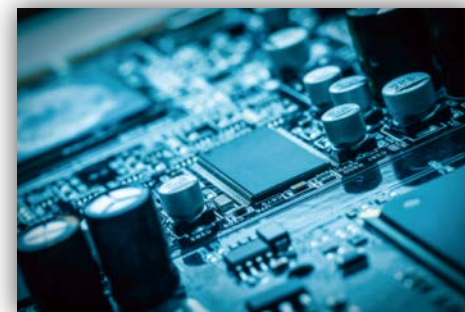
社会システム事業



車載事業



制御機器事業



電子部品事業

会社紹介：なぜ、様々な事業を営んでいるのか？

「センシング&コントロール」の技術概念のもと、社会課題の解決を目指してきた



⇒私自身は、入社以来「センサーのネットワーク化（IoT）」技術の研究開発とそれによる事業創造にチャレンジしています

本題：今日お伝えしたいこと

博士課程とは、

何故やるか？ 何をやるか？ どうやるか？

を考え抜き

どーにかこーにかやりきる

良質な経験の場です。

この経験は、職業人として
「自分の意志に基づいて創造的に仕事をする」

基盤となるでしょう。

IoTのイノベーションへの挑戦 入社0年目



技術・知財本部にて

今の職務の内容（IoTの事業企画）とは
技術的な関連性は強くありません

2009
入社

オムロン株式会社 技術本部

高周波デバイス・回路の
開発を希望して入社

博士課程修了

博士課程進学

技術社会システム専攻修士課程入学

電子工学科卒業(固体電子講座)

2000
入学

東北大学工学部電気・電子・情報系

IoTのイノベーションへの挑戦 入社0年目



技術・知財本部にて

今の職務の内容（IoTの事業企画）とは
技術的な関連性は強くありません

2009
入社

オムロン株式会社 技術本部

高周波デバイス・回路の
開発を希望して入社

博士課程修了
LSI用途高周波基板の研究に取り組む

博士課程進学
半導体プロセスと
アナログCMOSデバイスの研究に取り組む

2000
入学

電子工学科卒業（固体電子講座）
クラブ活動（混声合唱団）にハマル
~~あまり勉強せず~~

東北大学工学部電気・電子・情報系

10GHzを超える高性能コンピューターの実現を目指して

博士学位論文：超高速・低消費電力プリント配線基板に関する研究

- 何故やるか？ 超高性能コンピューティング社会を実現するのだ！
- 何をやるか？ プリント基板の高性能化による、システム全体の高性能化を狙う！
- どうやるか？ 新しい基板材料の導入によって、伝送損失を1/3以下にするのだ！
- どーにかこーにか？ それでも目標到達できなかつたら、配線構造を変えるのだ！

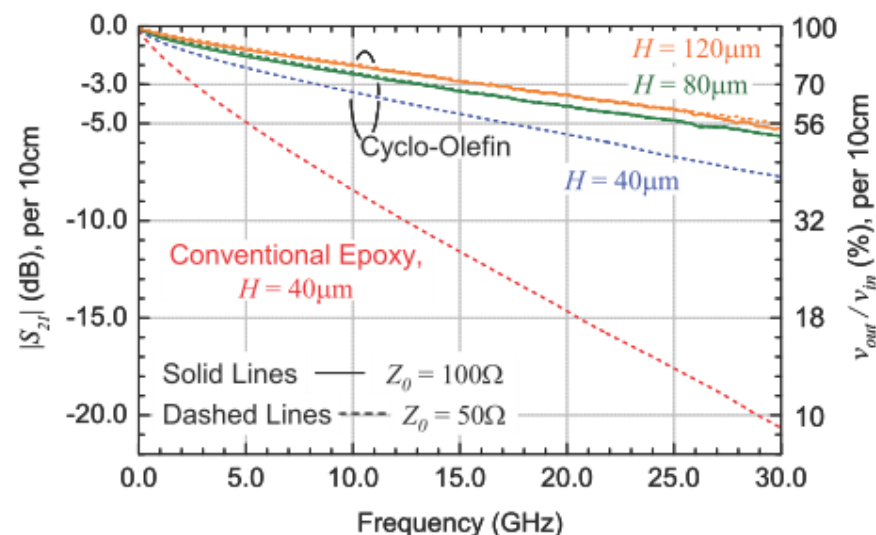
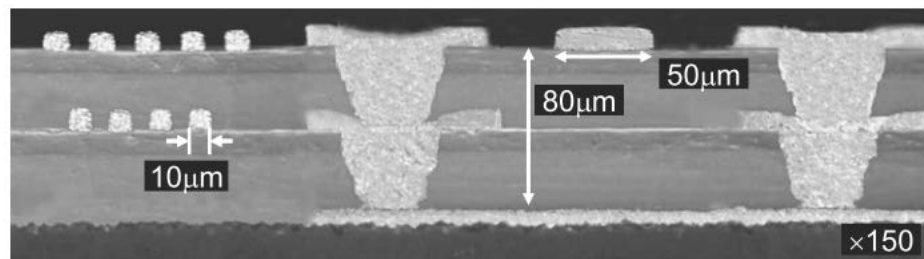


図 5-16：作製したマイクロストリップラインの伝送特性

IoTのイノベーションへの挑戦 入社2年目

太陽光発電向け発電量監視センサーの技術開発（と事業化）
事業の立ち上げ時期から参画し、何をやるか？に多少なりとも影響を与えた



<http://eco-megane.jp/>

IoTのイノベーションへの挑戦 入社7年目～

「センシングデータ流通市場」を創る構想と技術・事業の企画と実行

データを必要としているユーザーと、データを提供しても良いデータ保有者をマッチングし、必要時に必要なセンシングデータのやり取りを可能にする取引市場



キャリアを棚卸して考えた博士課程の意義

キャリアの早い段階で「何故やるか？」を問う仕事に携われるチャンスがある

博士課程の意義は、
「何故やるか？」から「どーにかこーにか」までの良質な経験を積めること

博士課程

企業での仕事の意味

何故やるか？

知の創造 = 哲学

何をやるか？

新しい価値を生むテーマ

どうやるか？

今までにないやり方で

どーにかこーにか？

一人であれこれと悩んで

会社の永続を通じた
社会価値の創造

新しい収益を生むテーマ

なるべくこれまでのやり方で

組織によってたかって

就職活動へのアドバイス

博士卒を求めている企業（とその中の人）へのアクセスルートを探索すること

①企業の本質的なスタンス

自社にとって必要な人が欲しい
(即戦力としても、ポテンシャルとしても)

同時に、

②事業活動の上でのスタンス

事業戦略に合わせて、採用人数をきちんと確保する必要がある

人事担当者のミッションは②になりがちです。

①を見ている人になるべく多くアクセスするように行動しましょう。

(その点で、企業との共同研究に積極的な研究室の方が就職しやすいのも事実)

企業によって、採用フローにばらつきがあります（新卒扱い・中途扱い・採の方針がない
etc.）。